

平成30年度 第3回八潮市外部評価委員会 議事録

開催日時	平成30年11月29日(木) 午前9時00分から午前11時40分まで	開催場所	八潮市役所 別館 B会議室
出席者 (敬称略)	委員長：島根 秀行 委員：若尾 岳志 清水 努 竹本 美恵子 岡 薫		
欠席者 (敬称略)	—	傍聴者数	0人
審議内容及び審議結果の概要	平成30年度 第3回八潮市外部評価委員会 1. 開会、あいさつ 2. 議事 (1)外部評価 ①高齢者福祉施設やしお苑(現地視察) ②小規模保育事業 3. その他 4. 閉会		
提供資料	資料1 平成30年度第3回八潮市外部評価委員会次第 資料2 平成30年度第3回外部評価委員会外部評価シート 資料3 平成30年度第3回外部評価委員会事務事業評価 ・年次事業評価シート 参考資料1 自己評価表(高齢者福祉施設やしお苑) 参考資料2 業務履行評価表(高齢者福祉施設やしお苑) 参考資料3 平成29年度決算報告書(高齢者福祉施設やしお苑) 追加資料1 八潮市子ども・子育て支援事業計画—平成27年度～平成31年度— 子どもも親も輝けるまちやしお 追加資料2 平成31年度保育のしおり		

【議事詳細】

平成30年度 第3回八潮市外部評価委員会

1. 開会、あいさつ

2. 議事

(1) 外部評価

①高齢者福祉施設やしお苑(現地視察)

・委員

資料3「平成30年度第3回外部評価委員会事務事業評価・年次事業評価シート」の2ページ、施設の利用状況における「来館者数」とは誰を対象とした人数か。

→事務局

利用者の面会に来館された人数のことである。

・委員

資料3の2ページ、活動指標及び成果指標について、事務事業評価の対象外としているが、その理由を教えてください。

→事務局

高齢者福祉施設やしお苑(以下「やしお苑」という。)は、利用料金制度を導入し、介護保険事業として運営されており、事務事業評価の対象として馴染まないと考え、対象外としている。

・委員

やしお苑の運営等について、チェック体制はどうなっているのか。

→事務局

医師会、学識経験者及び市民公募等の委員により構成される「八潮市高齢者福祉施設やしお苑運営委員会」を年に2回開催しており、この委員会において、やしお苑の運営状況や事業の取組等に関する事項について審議している。

・委員

先ほども説明いただいたが、資料3の2ページ、活動指標及び成果指標について、事務事業評価の対象外とした理由について詳しく説明して欲しい。

→事務局

これまで指標を設定したことがなく、指標を設定する発想もなかった。指標として何か良い案をお示しいただければ参考に検討したい。

・委員

市で所有している施設に指定管理者制度を導入して運営しているため、活動指標及び成果指標は定めたほうがよい。例えば、八潮市高齢者福祉施設やしお苑運営委員会で審議している事項で数値化できるものを指標として設定するのはどうか。

→事務局

いただいた意見を参考に、活動指標及び成果指標の設定について検討する。

・委員

資料3の2ページ、利用者満足度調査結果における「指定管理者に対する評価」の合計が49人と記載があるが、この調査は誰が回答しているのか。

→事務局

基本的にはやしお苑の利用者本人に回答をいただいているが、認知症等により利用者本人の回答が難しい場合は、利用者の家族が面会に来た際に、本人の意向を確認したうえで利用者の家族に回答をいただいている。

・委員

特別養護老人ホームは、公設が多いのか。

→事務局

現在は、多くの特別養護老人ホームが民設民営である。やしお苑は、高齢者福祉施設として平成10年4月1日に開所したが、平成12年度の介護保険制度の施行により、介護保険法等に基づき、特別養護老人ホーム等の業務を行う指定介護老人福祉施設となり、利用料金制度を導入した。その後、平成18年度から指定管理者制度を導入し、公設民営の特別養護老人ホームとなっている。

・委員

開所当初は、やしお苑の利用料金収入はどこに計上していたのか。

→事務局

やしお苑の開所当初は、利用者からの利用料金を、やしお苑が一旦預かり、やしお苑から市の歳入に計上され、老人保険特別会計により運営されていた。

・委員

市からやしお苑に補助金を出しているか。

→事務局

市からやしお苑に補助金は出していない。やしお苑の施設に修繕等の必要が生じた場合、市と指定管理者である社会福祉法人名栗園（以下「(福)名栗園」)が協議のうえ、必要に応じて市または(福)名栗園が支出し、修繕等を行っている。

・委員

施設の賃貸料金は発生しているか。

→事務局

施設の賃貸料金は発生していない。

・委員

やしお苑の指定管理業務として、特別養護老人ホームの業務はどのように位置づけられているのか。

→事務局

八潮市高齢者福祉施設やしお苑条例において、やしお苑を特別養護老人ホームとすること及び特別養護老人ホームの入所者(短期間入所する者を含む。)を養護することと定められている。また、特別養護老人ホームの業務については介護保険法等に基づいて実施されている。

・委員

やしお苑に市の職員が訪問する頻度はどれぐらいか。

→事務局

月に1回程度である。ただし、市内の関係施設等へ外出した際や、修繕を行う前後には訪問するようにしている。

②小規模保育事業

・委員

資料3の6ページ、事業費の内訳における「補助費等」の内容を教えてください。

→事務局

児童1人に対する補助単価(公定価格)を、各保育所の児童数で乗じた金額の合計に対し、国1/2、県1/4、市1/4の割合で負担している運営費補助や、この補助の対象とならない加配保育士の雇用等、保育の実状として必要となる運営費について、市が単独補助している補助金が含まれる。

・委員

定員に対しどれぐらい児童が入所していれば保育所の経営が成り立つのか。

→事務局

先ほど説明した国及び県からの運営費補助金における公定価格が、定員に対し満員で経営が成り立つ程度に設定されている。保育士1人に対して0歳児は3人まで、1、2歳児は6人まで等、児童の年齢に応じた保育士の配置基準があり、低年齢児を多く扱う小規模保育所は、保育士も多く雇用しているため補助費の割合も高いが、大きく利益を出しているということではない。

・委員

資料3の6ページ、活動指標の「小規模保育事業の入所人員」について、小規模保育所合計の定員が1,044人と説明があったが、平成29年度の実績値は1,126人と定員を超過しているが問題はないのか。

→事務局

保育所の定員については、児童1人あたりに必要な面積及び保育士1人に対する児童数の条件を満たしていれば、定員を超えていても弾力的に児童を受け入れることが可能とされている。平成29年度も弾力的な受け入れを行っている保育所があったため、実績値が定員を超えているが、必要な条件を満たしているため問題はない。

・委員

保育に関する市民の需要はどのような状況か。

→事務局

保育の需要は高まっている。民間企業で取得できる育児休暇の期間は1年間が多いため、特に0歳児から2歳児までの低年齢児に対する需要が高い。

・委員

資料3の7ページ、「①必要性の評価」の判断理由について、その他で「設置について市が認可したため。」としているが、保育需要が高まっているのであれば、選択肢にある「サービスの拡大や充実を求める市民意見・要望が増えている」を判断理由に加えてもよいのではないか。

→事務局

いただいた意見を参考に検討する。

・委員

資料3の7ページ、「②目標達成度」の判断理由について、「平成29年4月時点において待機児童が16人発生した」とあるが、その後の待機児童の状況はどうなっているか。

→事務局

平成30年4月から、待機児童の定義が全国一律で変更となり、新しい定義でカウントした結果、本市の待機児童数は45人となった。定義が平成29年4月時点と異なるため正確な比較はできないが、人口の増加も影響し、本市の待機児童は増加傾向にある。このことから、来年度新たに民間の保育所3か所、小規模保育施設4か所を開所し、合計で282人の定員拡大を図る等、待機児童の解消に向け取り組んでいるところである。

・委員

保育所の新設については、待機児童が発生した後に検討するのか。

→事務局

本日配布した追加資料1「八潮市子ども・子育て支援事業計画ー平成27年度～平成31年度ー子どもも親も輝けるまちやしお」のとおり、計画期間における児童の人口や、必要となる保育の見込み量等について推計はしているが、推計値と実績値が一致しない可能性がある。また、保育所の整備費に係る国及び県の補助金があるが、待機児童が発生していない自治体は補助を受けることができないケースがあることや、保育所の過剰整備にならないようにするため、保育所の新設については、待機児童の発生状況を勘案しながら検討している。

このような中でも、本市では、来年度当初から保育所を開所できるよう、待機児童が発生した当該年度中に施設を整備する等、待機児童の早期解消に努めている。

・委員

資料3の7ページ、「④公平性の評価」の判断理由として、「使用料・手数料等の料金設定を市で行うことができる」としているが、現状として、どのような負担があるのか。

→事務局

本日配布した追加資料2「平成31年度保育のしおり」の13ページ及び14ページのとおり、保育料については、市内全保育所共通で所得により階層で分けられた金額となっている。

平成30年度 第2回八潮市外部評価委員会で後日回答としていた質問への回答

・委員

老人クラブ会員の男女の割合を教えて欲しい。

→事務局

会員数は、男性が744人、女性が1,051人で合計1,795人であり、男女の割合は、男性が41.4%、女性が58.6%である。

・委員

平成30年度第2回八潮市外部評価委員会における配布資料における資料3の6ページに記載のある、成果指標「高齢者人口に占める月平均利用率」の計画値及び実績値の計算式を教えて欲しい。

→事務局

成果指標の計画値は、平成29年度の計画利用者数の月平均値1,239人を、第6期八潮市高齢者保健福祉計画平成29年度高齢者人口推計値19,990人で割ることで算出している。また成果指標の実績値は平成29年度の利用者数の実績の月平均値1,939人を平成30年4月1日の高齢者人口20,486人で割ることで算出している。

以上